

## 論 文 要 旨

学位論文題目 11-12世紀イラクにおける二つの王権と社会：スルタンとカリフ

氏 名 後 藤 敦 子

「本論文は、11-12世紀のイラク社会におけるトルコ系遊牧部族出自のセルジューク朝（1038-1194）スルタンとアッバース朝（750-1258）カリフの王権について検討したものである。1055年セルジューク朝スルタンはアッバース朝の首都バグダードに入城し、それ以降アッバース朝は外来軍人政権の支配下に入る。この時期は、イスラーム世界が軍人政権による支配へと移行するメルクマールとされるが、従来の研究では、スルタン、カリフのどちらか一方の政治史に比重を置く傾向にあった。そこで、上記のような状況下におけるスルタンとカリフの二人の支配者が並立する状況について、前半部分では「儀礼」的側面、後半部分ではセルジューク朝の「軍人支配」的側面から検討した。

第1章第1節では、カリフ宮廷において、カリフに謁見し支配権が承認されてアフド（委任状）が授与されるスルタンの承認儀礼と、カリフに対するバイア（忠誠の誓い）の儀式の事例を取り上げ、スルタンとカリフとの権力関係が如何なるものであったのか考察した。その結果、儀礼は、政治的背景によって儀礼の参加者や下賜物は多様であるものの、式次第がしだいに形式化されていく状況と、スルタンとカリフが互いの権力を承認し合う相互依存の関係であることが明らかになった。権力承認の証であるアフド授与儀式とバイア儀式の実施状況は、スルタンとカリフの関係性の強弱と政治権力のバランスを反映し、その時の支配者の正当性や権威を誇示するものであった。

第1章第2節では、カリフ家とスルタン家の婚姻の事例を取り上げて検討した。この婚姻は相互の権力を高めるための政略結婚とも言えるが、基本的な目的はスルタン側がカリフとの血縁を得ることで支配の正当性を強化することであった。婚姻の経済的側面について考えると、婚姻関係によってカリフは多額の収入を獲得し、重要な収入源の一つとなったのであった。

第2章では、カリフの4つの権限であるフトバ（金曜礼拝の説教での支配者の名前読誦権）、ラカブ（称号）の授与権、スィッカ（支配者のラカブでの貨幣鑄造権）、ナウバ（礼拝時楽奏権）が、カリフによってセルジューク朝スルタンに委譲されて施行され、そのあり方がスルタン、カリフの政治権力の変化に伴って徐々に変容していく状況を検討した。ムスリム社会の秩序を維持するためには、カリフによる権限の委譲は必要不可欠であり、カリフは軍人支配政権下でもその存在意義が重要視された。また、権限が実行されるカリフ宮廷があるバグダードは王権承認の場であり、セルジューク朝の王権存続を示す儀礼的空間であった。

第3章第1節では、スルタンの軍事的基盤の中心であるグラーム・アミール（奴隷軍人）、特にスルタンの代理としてカリフに接見するバグダード（イラク）のシフナ職の職務について検討した。第2節ではイラク在地権力者としてカリフ、スルタンとも関わりが深かったアラブ遊牧部族マズヤド家の軍事的

側面を検討した。このような軍事的アクターが軍人支配体制セルジューク朝の根幹にあったのである。

第4章では、セルジューク朝衰退の原因となったスルタン位継承をめぐる権力闘争を分析した。セルジューク族はイスラームに改宗し、イスラーム世界へ移動してきたが、領地は一族のものであり、遊牧部族特有の分封制でもって分割統治を行い、軍事的に最も実力があるものがスルタン位を継承して宗主権が掌握する支配体制であった。スルタン位継承問題の一番の要因は、長子継承という法則が存在せず、一族の中で軍事的に最強のものがスルタン位を継承する慣習であったことである。後継者を指定するワリー・アルアフドの制度が導入されたが、結局それに異を唱える王族が軍力で解決しようとして、配下のワズィールやアミールを巻き込んだ戦乱が起き、セルジューク朝は衰退していった。

以上の事例研究によって、スルタンはセルジューク朝の基本体制である遊牧分封制を継続したために後継者問題を抱えるが、グラーム・アミールを中心とした軍隊組織を保持していたこと、カリフは自身の宮廷・軍事力・財源を持ち、スルタンにフトバやスィッカといった自身の権限を委譲することで政治的権力を保持していたことが明らかになった。二つの王権の存立基盤から考えると、スルタン王権は、遊牧部族一族の中でも絶対的な軍事力を保持し、儀礼によりカリフから承認されスルタンとしての統治権を正当化された王権、他方カリフ王権は、ウンマ（イスラーム共同体）の長であり、かつスルタン等の臣下が参加する儀礼においてカリフ位を承認されるカリフ王権という相互に依存する二つの王権象が明らかになった。11-12世紀のイラク社会は、スルタンとカリフが相互に依存する「スルタン・カリフ並立体制」であったと言える。」